



日本遺産を世界へアピール
JICA東北センター外国人研修員が
安積疏水及び農業関連施設等を視察します



ターゲット 6. a



ターゲット 17.17

2026年5月29日
文化スポーツ観光部
観光政策課
課長 遠藤 英樹
TEL：924-2628

SDGs ターゲット 6. a 「開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する」

SDGs ターゲット 17.17 「官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

独立行政法人国際協力機構(JICA)東北センターにおいて、灌漑施設の維持・運営管理を学ぶ外国人研修員が、研修の一環として、本市及び猪苗代町の安積疏水関連施設等を視察します。

1 日程 6月1日(月)～2日(火)

2 行程

期日	時間	視察・見学場所
6/1(月)	10:00～12:00	福島県農業総合センター (郡山市日和田町高倉下中道 116)
	13:00～14:00	JA 福島さくら郡山カントリーエレベーター (郡山市日和田町字泥夫 9-1)
	14:30～15:00	JA 福島さくら農産物直売施設「あぐりあ」 (郡山市安積町成田一丁目 20-1)
6/2(火)	9:30～11:30	安積疏水土地改良区、水管理センター (郡山市開成二丁目 22-2)
	13:00～13:30	上戸頭首工 (猪苗代町山潟)
	13:40～14:10	田子沼分水工 (猪苗代町山潟字沼上山 1043-30)
	14:30～15:00	十六橋水門 (猪苗代町翁沢字船場 2299-2)
	15:30～16:00	沼上発電所 (郡山市熱海町安子島字固後利山 3-1)

3 参加者 外国人研修員 10名

通訳・担当者 2名

※参加者国籍 カザフスタン、キルギス共和国、タジキスタン、トルクメニスタン、ウズベキスタン



▲昨年の視察研修（福島県農業総合センター、十六橋水門）の様子（2025年6月）

<安積疏水関連施設におけるJICA視察研修の受け入れについて>

開発途上国において、灌漑施設の管理手法や農村開発は重要なテーマであり、日本に学びに来る研修員にとって、「世界かんがい施設遺産」にも登録されている安積疏水は、その背景や仕組みから自国の発展に寄与する有意義な研修素材であることから、本市では、国際貢献の観点を踏まえて、2019年からJICA視察研修を積極的に受け入れており、今回で11回目となります。2024年7月には、JICA筑波センターの視察研修も行われました。

視察施設の一部は、日本遺産ストーリー「未来を拓いた『一本の水路』」の構成文化財となっていることから、今後のインバウンド誘致による観光促進についても期待できるものとなっています。

4 取材に関する問い合わせ先

JICA 東北 総務課 担当：大和

Tel：022-223-5151

<https://forms.office.com/r/HsCRWCg7pw>

